

10月14日は「鉄道の日」

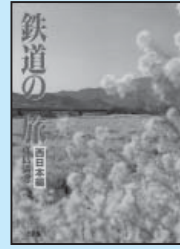
鉄道が好きになる本



「電車の運転」  
「運転士が語る  
鉄道のしくみ」  
宇田賢吉／著



「女子と鉄道」  
酒井順子／著



「鉄道の旅」  
「東日本編・西日本編」  
真島満秀／写真・文

時刻通りに電車をホームの定位置にピタリと停める。このような職人技をもつ運転士は、何を考え、どのように運転しているのか。また、それを支える鉄道の仕組みとは。電車を動かす複雑精緻なシステムと運転士の仕事を紹介する。

著者は1940年広島県生まれ。58年日本国有鉄道に入社。蒸気機関車、電気機関車、電車に勤務。87年JRの発足にともない、日本国有鉄道を退職し、西日本旅客鉄道に入社。2000年退職。

茶道や華道をたしなむ女性が多いが、鉄道をたしなむ女性はまだ少ない。「負け犬の遠吠え」の著者が、北から南まで鉄道の旅を綴る。女子にも乗れる鉄道入門。「小説宝石」「ユリイカ」掲載を単行本化。

著者は1966年東京生まれ。立教大学観光学科卒業。広告代理店勤務を経て、エッセイスト。「負け犬の遠吠え」で婦人公論文芸賞、講談社エッセイ賞受賞。他の著書に「観光の哀しみ」「都と京」など。

のんびり、ゆっくり、列車で旅に出る。今まで見えなかった日本のよさと、自分自身が見えてくる。景色に溶けこんで列車が行く……。鉄道写真の第一人者がとらえた美しい日本。旅に出てみたくなる東日本編・西日本編の二冊。

著者は1946年信州生まれ。広告代理店勤務後、エディトリアルフォト、作家活動を目指して独立。鉄道写真の第一人者。

10月の催しもの

とき	催しもの
12日(日) 11:00～、14:00～	子どもビデオ劇場
19日(日) 11:00～、15:00～	子どもクイズ教室
25日(土) 10:30～	のりくんのおじさん
毎週木曜日 10:00～12:30	あかちゃんクラブ ラッコルーム
毎週土曜日 14:00～	「おはなし」と「あそび」の広場

◆不用図書の無料配布 10月18日(土)から、無くなり次第終了。お一人様各5冊まで。

その他の鉄道に関する本

- ◆「まるごと名古屋の電車ぶらり旅してここが気になる」 徳田耕一／著
- ◆「全国鉄道博物館 鉄道文化の殿堂『鉄道博物館』&全国の施設セレクト30」 白川淳／著
- ◆「<図説>鉄道車両はこうして生まれる 名車たちの誕生までの軌跡と車両製造のいま」
- ◆「ローカル列車の旅」 櫻井寛／写真・文
- ◆「秘境駅」 牛山隆信・栗原景／著
- ◆「魅惑の世界鉄道紀行」 三浦幹男／著

俳句

「秋暑し」

ふそう俳句会

秋暑し盲導犬の静かな眼  
颯風の眼の中にいて茹で卵  
ガラス戸に月のぬくもり白秋忌

市川 信子  
浅野 ひろし  
浅野 幸子

川柳

扶桑川柳クラブ

内職の率の悪さに暑さ増し  
読書から親の教えぬ恋学び  
炎天へ平和の祈り焼き付ける

立木 昌子  
飯田 重樹  
山田志げ子

短歌

「蓑虫」

ふそう短歌会

蓑虫の風に揺れをり喪ひし  
哀しみ綴るわれも揺れつつ  
苛めつ子苛められつ子を無視無視と  
弱ムシばかり今の世の子は  
おとろへず残暑続くも夕闇の  
背戸にこおろぎ繁く鳴き初む

和田 悦子  
大澤ひな子  
大藪美佐子

詩吟

「旅雁を聞く」

菅原の道真

我は遷客となり汝は来賓  
共に是れ肅々たる旅漂の身  
枕を敬て帰去の日を思慮すれば  
我は何れの歳をか知らん汝は明春

「意」 雁よ、我は流されの身、汝は客として迎えられる。而し共に淋しい旅人である。静かに都へ帰れる日を考えて、我はいつ帰れるかわからないが、汝は来年の春には、帰れるのだ。

山内 正風